

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
製造工程で発生する廃棄物の再生利用については、継続的に検討を行っていく。			
② 計画	【(令和4年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		
製造工程で発生する廃棄物の再生利用については、継続的に検討を行っていく。			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	7,363.6 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
汚泥については、当工場で濃縮及び脱水することにより、排出量の抑制に努めている。			
② 計画	【(令和4年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	7,071.1 t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
更新した排水処理設備の安定稼働を維持し、継続的に汚泥の排出を抑制する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和4年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。

* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和3年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	1,857.1	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	363.1	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	799.8	t
	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	t
	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	① 産業廃棄物処分を処分業者に委託する際、中間処理後に再資源化に努めるよう依頼している。 ② 定期的に産業廃棄物処分場の視察を実施し、処理状況の現地確認をしている。		

* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。

【(令和4年度)目標】		
② 計画	⑩ 全処理委託量 1,901.3 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 403.9 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量 858.2 t	
	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量 t	
	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t	
(今後実施する予定の取組)		
現在実施している取組を継続的に行い、今後も廃棄物処理の委託に関して適正な対応を図っていく。		
※ 事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度(令和3年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和3年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和4年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 ※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

別紙一括表

事業場名称: 独立行政法人国立印刷局小田原工場

該当する欄に○印を記入してください。

項目	2-1 法定													合計							
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス		セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性廃棄物	動植物性廃棄物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ぬえい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	混合廃棄物その他	
① 排出量	106.6	6,882.6	9.9	36.8	1,568.7	28.6	241.1						10.7	.6						25.3	8,910.9
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	95.6	6,326.8	0	0	941.2	0	0						0	0						0	7,363.6
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
⑩ 全処理委託量	11.0	555.8	9.9	36.8	627.5	28.6	550.9						10.7	.6						25.3	1,857.1
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	11.0	318.5	0	0	0	22.9	0						10.7	0						0	363.1
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0	216.0	9.9	2.5	0	24.6	536.1						10.7	0						0	799.8
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
① 当該事業場における排出量	150.4	6,869.6	10.9	31.3	1,556.6	71.7	243.3						10.4	.6						27.6	8,972.4
※1 自社の他事業場からの搬入量																					
② 自ら直接再生利用する量																					
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																					
④ 自ら中間処理する量	150.4	6,645.7			1,556.6		237.2														8,589.9
⑤ ④のうち熱回収を行う量																					
※2 自社の他事業場での処理量																					
⑥ 自ら中間処理後の残存量	15.5	318.9			622.7		561.7														1,518.8
⑦ 自ら中間処理により減量する量	134.9	6,326.8			933.9		-324.5														7,071.1
A 自己処理する量																					
⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																					
⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																					
※3 自らの中間処理後に自社の他事業場での処理量																					
b 自ら中間処理後の処理委託量																					
b-1 中間処理委託量	15.5	318.9			622.7		561.7														1,518.8
再生利用前委託量	15.5	318.9			622.7		561.7														1,518.8
最終処分前委託量	15.5	314.5			622.7		561.7														566.1
下水等放流前委託量																					952.7
b-2 最終処分委託量																					
B 直接処理委託量																					
B-1 中間処理委託量	223.9	10.9	10.9	31.3	622.7	71.7	6.1						10.4	.6						27.6	382.5
再生利用前委託量	223.9	10.9	10.9	31.3	622.7	71.7	6.1						10.4	.6						27.6	382.5
最終処分前委託量	203.1	10.9			67.7								10.4								292.1
下水等放流前委託量	20.8			31.3		4.0	6.1							.6						27.6	90.4
B-2 最終処分委託量																					
⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量	15.5	542.8	10.9	31.3	622.7	71.7	567.8						10.4	.6						27.6	1,901.3
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	15.5	318.5			59.5								10.4								403.9
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	207.5	10.9			67.7		561.7						10.4								856.2
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																					
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					

令和4年度目標